

学校 番号	22	学校名	篠ノ井高等学校
----------	----	-----	---------

令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和2年 9月 4日（金）実施（書面会議）】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・ コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議（7名の学校評議員へ郵送）で実施。
- ・ 資料送付 9月4日（金）
校長あいさつ、全日制現況、今年度重点目標
進路状況、生徒会
学年より
定時制現況、今年度重点目標
- ・ 資料、ホームページを閲覧後、FAX、メールで感想、提言等をお寄せいただいた。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ コロナ禍のため、書面会議を実施し、ホームページ、資料によって学校の様子を伝えた。
- ・ 学校休業時の学校の取り組みの様子をホームページに掲載した。
- ・ 地区区長、信大教授、地元中学校長、同窓会、PTA、定時制教育振興会と多方面からバランスよく評議員をお願いした。
- ・ 重点的に取り組んでいる学校目標を明確にし、資料を作成した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ 資料、ホームページから、まさにコロナとの戦いに奮戦されている様子がうかがえた。精神的に辛い生徒もいたと思うが、「しのフェス」の実施は、3年生にとっても大変良かったのではないか。
- ・ 全日制、定時制の学校評価表は、大きく変える必要はないのではないか。
- ・ 一昨年度ぐらいから、「主体的・探究的な学び」に関する取り組みや国際交流が充実して来ているが、コロナの影響でそのような活動が思うようにできなくなっていると思うが、できる範囲で継続してほしい。オンラインを利用した交流もいいのではないか。
- ・ ホームページの改善について、具体的な提言をいただいた。
- ・ 本年のような非常年の活動記録を細かい点も含めて記録し、あとで見直しができるようにすることが重要である。今後のコロナの状況から、「どのような準備が必要か」「どのように対応すればよいか」現在の取り組みから改善点を見出し、今後に生かしていきたい。
- ・ 生徒の心身のケア、特に保健室の活動はとても大切だと思う。保健室だけに荷重がかからないように全体的な組織対応が必要ではないか。
- ・ 当たり前のことが当たり前にできない苦しさはあるが、生徒に寄り添いながら、丁寧に支援や対応されていることが伝わってくる。特に3年生や4年生の進路実現に対して、よろしく願いたい。
- ・ 明るく何事にも一生懸命に取り組む校風が、とても好感がもてる。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・対面による会議の開催は見送った。資料、ホームページから本校の取り組みの様子に対して感想、提言をいただいたが、コロナ禍にあっての取り組みに概ね理解をいただいた。
- ・コロナ禍における生徒一人ひとりに寄り添う教育活動、組織づくりの重要性を改めてご指摘いただいた。
- ・見やすいホームページを目指して、改善していきたい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。
なお、報告書のみメール添付にて担当までご提出ください（会議用資料等は不要です）。